

## 昭和60年度・北海道に発生した森林害虫

北海道森林昆虫談話会  
(1986.12.5 受理)

## はじめに

北海道林務部, 北海道営林局, 各営林支局, 北海道林木育種場, そのほか山林所有者からの害虫同定依頼, 被害報告, それに北海道立林業試験場, 林業試験場北海道支場の調査をもとにして, 昭和60年度に, 北海道に発生した森林害虫の発生状況を北海道森林保護会議(昭和61年3月1-2日開催, 第21回北海道森林昆虫談話会)でとりまとめた。今回から統計の取りかたを多少変えることとした。過去に北海道で森林害虫として取り上げられたことのあるもののリストをあげ, 当該年度に発生があったか否かを確認することとした。その種数は90種ですべてについて発生地域, 被害程度を記載した。特に気をつけて観察しなかった種は観察していない旨を記載し, 発生しなかったことと区別した。「新害虫」, 「今年特筆すべき害虫」, 「来年被害の予想される害虫」の3項目を新たに設けた。この3項目については解説を加える。

## 新害虫

新害虫としてトウヒハバチ, タカネヒラタハバチ, ニセポブラハバチ, ニレノミゾウムシの4種が挙げられた。

トウヒハバチは幼虫がトウヒ類の葉を集団で食害する。食害時期は6-9月である。従来からトウヒ類の害虫として知られていたが, 林業試験場北海道支場の実験林でグラウカトウヒがかなりの被害にあったことから新害虫として登録した。学名 *Gilpinia tohi* TAKEUCHI.

タカネヒラタハバチは大雪山高原のハイマツで大発生しているハバチで, このハバチに食害された後気象害が重なって一部に枯損がみられる。昭和58年から続いているが, なお終息する気配はない。学名 *Cephalcia variegata* TAKEUCHI.

ニセポブラハバチはポブラハバチに幼虫がそっくりである。わずかに体色がうすく, 特に体の中

央部が黄緑色で, 小型であるが, 通常見分けが付きにくい。成虫は腹部の色が赤色でポブラハバチの成虫とは全く異なる。生活史はよく分かっていないが, 越冬後の成虫の出現はポブラハバチより遅く7月上旬で, 9月まで少なくとも2世代を繰り返しているようである。学名 *Trichiocampus flaviventris* TOGASHI.

ニレノミゾウムシはいわゆる潜葉性の害虫で, 幼虫がハルニレの葉の中に潜り加害する。加害時期は6月で, 6月下旬に加害した葉の中で蛹化し7月上旬羽化する。成虫も葉を加害し, 葉に斑点を作る。学名 *Rhynchaenus mutabilis* (BOHEMAN)

## 特筆すべき害虫

ハバチ類の発生が目立った: オオアカズヒラタハバチが由仁町で発見された。60年度は土中で休眠中で被害の発生はなかった。前々年に発生がみられた佐呂間町の富武士小学校のヨーロッパトウヒは今年も食害があった。大雪山のタカネヒラタハバチ被害域は多少拡大した。ミズナラの葉を食害するハバチが林業試験場北海道支場の実験林で発生。浦河林務署部内でエゾマツハバチが発生。アカエゾマツの新しい針葉が食害されており, 一部前年の新梢に枯れたものがあつた。トウヒ類にヒラタハバチ科のハバチが散見された, 種名不明。8月から9月にかけてシラカンバにコンボウハバチの一種の幼虫が目立った。カラマツハラアカハバチは繭による発生予察の調査の結果, 中害以上の被害が予想されるところが少なかったので防除を見合わせ, 様子を見ることとした。なお, 発生が予想される穂別町字柴では天敵の放飼をした。北見営林支局の置戸営林署部内で新しい被害が発見された。従来の発生地から離れて孤立した場所なのでどのような経路で移動したのか不思議である。かなり気温の低い地域なので今後どのように推移するか興味もたれる。59年度発生のみられたヒメカラマツハバチは今年も散見される程度で

あった。大雪でダケカンバにハバチが発生、種名不明。

食葉性のガ：例年以上に目立っている。マイマイガは岩見沢で、マツカレハは美唄周辺で、セグロシャチホコは洞爺湖周辺で去年に引き続き発生、ブナアオシャチホコは道南で8000ha、カラマツイトヒキハマキは上川、網走地方で発生。クワゴマダラヒトリが長沼町周辺で去年につづいて発生、被害の範囲は広がっている。モミコスジオビハマキが余市で。その他ツガカレハ、マツアトキハマキが目についた。

食葉性の甲虫：オオスジコガネが共和町、駒ヶ岳の周辺で、ニレノミゾウムシが北大構内や各地街路樹のハルニレに潜葉、落葉はしなかった。

穿孔性の甲虫：昭和56年の風倒による影響は天然林、カラマツ林ともに59年度でほぼ終わったようである。北見でアカエゾマツ、カラマツのヤツバキクイムシ、カラマツヤツバキクイムシによる被害あり。上記の乾燥の影響と思われるがトドマツクイムシによるとされる被害が少しあり。カラマツハラアカハバチの被害地でマルクビヒラタカミキリによる枯損発生。

去年からの乾燥のせいと思われる被害：夕張で間伐後のトドマツの枯れがあった。トドマツクイムシおよびヒゲナガカミキリ類の食害がみられたがこれが主因となっているとはみられなかった。前年の乾燥に間伐が重なったためと判断された。札幌郊外のゴルフ場でヨーロッパアカマツの枯損があった。一部にマツノシンマダラメイガの加害がみられたが、この虫によるとは断定できず、乾燥の影響であると判断された。

#### 発生の予想される害虫

今年度次の害虫の発生が予想された。

オオアカズヒラタハバチ、マツカレハ、カラマツイトヒキハマキ、クワゴマダラヒトリ、マイマイガ、タカネヒラタハバチ、シャクガ類

#### 昭和60年1-12月に発表された関係文献

1) 館 和夫：道内のスギノアカネトラカミキリの分布

と被害状況 森林保護 185, 4-5, 1985, 1

2) 吉田成章・福山研二・小泉 力・秋田米治：風倒地でフェロモンによるヤツバキクイムシ誘引試験(VII), 日林北支講33, 135-137, 1985. 3

3) 秋田米治：林試北支実験林の造網性クモ類と捕獲昆虫類, 日林北支講33, 138-140, 1985. 3

4) 吉田成章・福山研二・小泉 力：択伐後の枯損防止にフェロモンによるヤツバキクイムシの誘殺は有効か, 第96回日林講(ポスターセッション), 1985. 4

5) 奥田裕志・鈴木重孝：カラマツヤツバキクイムシに対する fenitrothion の予防効果と残効性, 応動昆29(4), 326-329, 1985. 4

6) 鎌田直人・吉田成章：エゾマツカサアブラムシによるゴール形成の刺激時期, 日本応用動物昆虫学会誌29, 329-332, 1985. 5

7) Ichiji TOGASHI & Nariaki YOSHIDA: Discovery of Larvae of *Gilpinia daisetusana* TAKEUCHI, AKITU (70), 1-4, 1985. 6

8) 東浦康友・鈴木重孝：カラマツハラアカハバチの生物的防除, 森林保護188, 26-28, 1985. 8

9) 前藤 薫・山根明臣：低温処理によるスギカミキリ成虫の休眠打破, 日林誌67, 376-377, 1985. 9

10) 秋田米治：林試北支実験林の造網性クモ類と捕獲昆虫類(II), 第96回日林論, 1985. 10

11) 前藤 薫・山崎三郎・池田俊弥：稚蚕用人工飼料によるヒノキカワモグリガの飼育, 第96回日林論, 509-510, 1985. 10

12) 秋田米治：タカユヒメグモの生活史と捕食量, 昭和59年度林試北支年報, 48, 1985. 10

13) 北海道森林昆虫談話会：昭和59年度、北海道に発生した森林害虫, 北方林業37, 22-25, 1985. 10

14) 前藤 薫・池田俊弥ほか3名：野外網室におけるマツノマダラカミキリ成虫の死亡経過, 日林誌67, 506-508, 1985. 12

15) Maeto, K.・Nagai, K.: Notes on braconid parasitoids of *Medythia nigrobilineata* (Motsulsky)(Coleoptera, Chrysomelidae), with description of a new species of *Centistes* Haliday (Hymenoptera, Braconidae), Kontyu 53, 729-733, 1985. 12

表-1 85年度森林害虫発生状況

I 特定害虫  
[統計方法が面積として確立している害虫]

害虫名	所管	60年度防除面積	発生面積	備考
トドマツオオアブラムシ	北海道局	1137.0	1479.0	
	函館支局	111.0	108.0	
	旭川支局	101.66	40.8	
	帯広支局	6.75	0	
	北見支局	0	0	
	道有林	466.0	469.0	
	民有林	667.85	682.49	
合計	2490.26	2779.29		
エゾマツオオアブラムシ	北海道局	901.0	964.0	一部エゾマツ
	函館支局	0	0	
	旭川支局	151.24	90.91	
	帯広支局	529.75	0	
	北見支局	0	0	
	道有林	369.0	431.0	
	民有林	73.58	86.3	
合計	2024.57	1572.21		

II 吸汁性害虫

害虫名	観察・情報収集メモ	被害等メモ	地域
トドマツノハダニ	一部地域でみられた	アカエゾ	札幌, 当麻町
スギノハダニ	観察していない		
スギマルカイガラムシ	観察していない		
マツワタアブラムシ	すこしみられた	被害なし	
トドノネオオワタムシ	観察していない		
ハネナガオオアブラムシ	観察していない		
クリオオアブラムシ	すこしみられた	一部枯死枝あり	羊が丘

III 虫えい形成害虫

エゾマツカサアブラムシ	よく各地でみられた		全道
ヒメカサアブラムシ	よく各地でみられた		全道
キタマツカサアブラムシ	すこしみられた		札幌
トドマツノタマバエ	すこしみられた	被害なし	苫小牧
マツバノタマバエ	ほとんどみられなかった	被害なし	砂坂
スギタマバエ	すこしみられた	被害なし	道南
エゾマツノシントメタマバエ	すこしみられた	被害なし	羊が丘
クリタマバチ	すこしみられた		余市付近
カシワハナフシ	観察していない		

IV 食葉性害虫

カラマツハラアカハバチ	置戸署5.27ha, 森町1.92ha, 当別町0.7ha		
マツノミドリハバチ	観察していない		
オオアカズヒラタハバチ	一部地域でみられた	ほとんどまるぼうず 佐呂間: 10本(1本枯れ) 岩見沢署: 0.6ha, 厚真町: 約1ha	佐呂間 岩見沢署 厚真町
カラマツキハラハバチ	すこしみられた	被害は大きくない	厚岸町
エゾマツハバチ	一部地域でみられた	梢頭部枯れるか? 52ha	浦河林務署
ポブラハバチ	ほとんどみられなかった	(1985年から激減)	
オウトウナメクシハバチ	一部地域でみられた	1984年ほどひどくない	札幌
シラカバノクロボシハムグリハバチ	一部地域でみられた	被害なし	札幌
ミスジヒメカラマツハバチ	前年ほどひどくはない		胆振・日高・十勝南部
ドイツウヒマダラメイガ	観察していない		
マツアトキハマキ	一部地域でみられた	目立つ(イチイ庭園樹)	札幌・北見
カラマツイトヒキハマキ	一部地域でみられた	名寄署1.54ha, 北見署142.48ha	

	生田原署1.11ha 民有林(後志, 胆振, 上川, 網走)25150.0ha 道有林(防除, 旭川市50ha, 当麻町110ha, 東川町40ha)		
カラマツヒメハマキ	観察していない		
モミコスジオビハマキ	一部地域でみられた	余市町1.92ha	
マツヒメハマキ	観察していない		
トドマツアミメヒメハマキ	観察していない		
トウヒツツリハマキ	観察していない		
マエアカスカシノメイガ	ほとんどみられなかった		札幌
コメツガクチブサガ	ほとんどみられなかった	終息した	
オオクシヒゲシマメイガ	観察していない		
ミスジツマキリエダシヤク	一部地域でみられた	厚真町16ha, 早来町37ha 胆振東部	
オオトビスジエダシヤク	観察していない		
オオチャバネフユエダシヤク	一部地域でみられた(種同定に問題あり)		札幌
チャバネフユエダシヤク	一部地域でみられた(同上)		札幌・羽幌・標茶
ナミスジフユナミシヤク	一部地域でみられた		
ヤナギドクガ	ほとんどみられなかった		
キアシドクガ	一部地域でみられた	被害なし	美唄・苫小牧
マイマイガ	一部地域でみられた,	まるぼうず, 岩見沢市8.2ha薬剤防除	
ノンネマイマイ	ほとんどみられなかった		
セグロシャチホコ	すこしみられた	壮瞥町43.87ha	札幌, 被害なし
ブナアオシャチホコ	道南地域でみられた	鹿部町923ha 南茅部町1392ha, 函館市2499ha	いずれも推定面積
キバネセセリ	すこしみられた	被害なし	札幌
コウモリガ	観察していない		
クワゴマダラヒトリ	広範にみられた		長沼町・美唄町・厚沢部町
カラマツツツミノガ	すこしみられた	被害なし	札幌
ツガカレハ	すこしみられた	被害なし	札幌
マツカレハ	東大演習林 ストローブ	まるぼうず, 美唄	
オビカレハ	すこしみられた	防除1ha	留萌市
オオスジコガネ	一部地域でみられた,	森署13ha, 共和町3.24ha, 同防除0.2ha	
スジコガネ	すこしみられた	被害なし	札幌
ハンノキハムシ	すこしみられた	被害なし	羊が丘
ドロノキハムシ	すこしみられた	被害なし	羊が丘
イタヤハムシ	わずかにいた		羊が丘
ハラダチョッキリ	ほとんどみられなかった		
アカタマゾウムシ	ほとんどみられなかった	被害なし	長沼町

V 新梢・球果穿入害虫

カラマツタネバエ	ほとんどみられなかった		
マツトビマダラシムシ	観察していない		
マツツマアカシムシ	観察していない		
マツノシンマダラメイガ	すこしみられた	わずかにあり	羊が丘
マツノマダラメイガ	まったくみられなかった		羊が丘
ツマクロテンヒメハマキ	すこしみられた	アカエゾ, エゾの 梢端が枯れる	道央

VI 根部害虫(主に苗畑対象)

ヒメコガネ	観察していない		
ナガチャコガネ	少しみられた, 成虫もすくなかった		札幌周辺
*オオスジコガネ	まったくみられなかった		羊が丘
*スジコガネ	観察していない		
エゾマツノメイガ	一部地域でみられた	不明	東大演習林

(注: \*の成虫については食葉性害虫の項を参照のこと)

VII 穿孔性害虫

オオトラカミキリ	一部地域でみられた		今金町
シラフヨツボシヒゲナガカミリ	観察していない		

ヒゲナガカミキリ	一部地域でみられた	スギ, 松前町44ha, 福島町12ha,	札幌丸山 羊が丘
スギノアカネトラカミキリ			
センノキカミキリ	観察していない		
ヤチダモノナガキクイムシ	一部地域でみられた	乾燥害の余波か	札幌, 定山溪, 岩見沢, 夕張, 芦別の各署
トドマツノキクイムシ			
ヤツバククイムシ	幾寅署 1982年の台風の影響 詳細不明 道有林(置戸町1ha, 訓子府町22ha, 津別町38ha:それぞれ伐倒搬出), 民有林(苫小牧市3ha, 防除16ha) 風倒の影響終了, 道有林(美幌町4ha, 津別町30ha:伐倒搬出) 報告なし		
カラマツヤツバククイムシ	観察していない		
カラマツコキクイムシ	観察していない		
マツキボシゾウムシ	観察していない		
トドマツキボシゾウムシ	ほとんどみられなかった		長沼町
ヤナギシリジロゾウムシ	観察していない		
シラカバナガタマムシ	観察していない		
マルクビヒラタカミキリ	すこしみられた	33m(2次的)	富良野町
トドマツノキバチ	観察していない		
ヒゲジロキバチ	観察していない		
コルリキバチ	観察していない		

Ⅷ 新害虫

上記以外でかなりの被害を与え森林害虫として登録すべきもの

害虫名	加害樹種	生態等	地域
トウヒハバチ	トウヒ類	6-9月, 幼虫が集団で主に旧葉を食害	全道的
タカネヒラタハバチ	ハイマツ	7月中旬-8月下旬, 幼虫が針葉に巣を造って集団で加害	大雪山
ニセポプラハバチ	ポプラ類	6月と8月の2回発生 幼虫はポプラハバチに極めて似ている	羊が丘
ニレノミゾウムシ	ハルニレ	6月幼虫がニレに潜葉して加害 7月成虫も葉を食害	札幌

Ⅸ 60年度特筆すべき害虫

60年度特に被害の目だった注意すべき害虫を再記した。

害虫名	加害樹種	地域	備考
オオアカズヒラタハバチ	エゾマツ・アカエゾマツ	佐呂間町・長沼町・厚真町	60年度のみ? 北海道初の大発生 道東への拡大注意
カラマツイトヒキハマキ	カラマツ	道北	
エゾマツハバチ	アカエゾマツ	浦河林務署	
マツカレハ	ストロブマツ	東大演習林	
カラマツハラアカハバチ	カラマツ	置戸署	
タカネヒラタハバチ	ハイマツ	大雪山	

表-2 来年被害の予想される害虫

来年度大発生なり, 被害があると思われる害虫を予測

害虫名	加害樹種	コメント(地域 理由等)
オオアカズヒラタハバチ	エゾマツ・アカエゾマツ	佐呂間町・長沼町・厚真町
カラマツイトヒキハマキ	カラマツ	道北
マツカレハ	Pinus 属マツ類	全道的に注意を要する。特に富良野周辺
カラマツハラアカハバチ	カラマツ	置戸署 道東への拡大注意
タカネヒラタハバチ	ハイマツ	大雪山
マイマイガ	カラマツ	
ツガカレハ	トドマツ	北見地方, 前回の発生1975年

(吉田成章)